

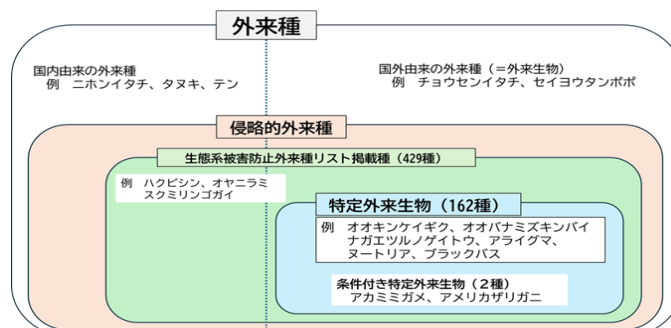
東近江市の主要な外来種の対応について

東近江市環境部森と水政策課

◆外来種対応

第3次東近江市環境基本計画および東近江市生物多様性地域戦略に基づき、「森里川湖」の豊かな生態系と在来種、並びに生活環境や農林業被害を守るため、外来種の侵入防止・早期発見・防除の徹底を推進します。

法的指定の有無(特定外来生物等)にかかわらず、生活被害や街路樹食害を引き起こす「その他の注意すべき外来生物」についても、市民・事業者との連携のもと防除や適正管理に努めます。



◆外来植物(水生・陸生)

オオバナミズキンバイ

【特定外来生物】(水生植物)



【特徴】 南米原産の水生アカバナ科植物。茎や根の切れ端から繁殖する驚異的な生殖力を持つ。

【影響】 湖岸、伊庭内湖、愛知川水系等で大繁殖。水面を覆い光を遮断、水質悪化や固有水生植物・魚類の生息地を奪い、水路詰まり・洪水を誘発。

【対策】 機械や手作業による根全撤去・完全駆除、乾燥・打流防除、断片の流出防止。市民・団体との連携駆除の強化。

ナガエツルノゲイトウ

【特定外来生物】(水生・陸生植物)



【特徴】 南米原産のヒユ科植物。乾燥にも水没にも非常に強く、「地球上で最も駆除が困難な植物」と呼ばれる。

【影響】 水田水路、農地、湖岸に侵入。強力な根群により水路を閉塞させ、水稻の生育阻害や農作業障害を引き起こす。

【対策】 拡散の厳禁(草刈り機による破碎は断片拡散を招くため不可)。根掘りによる慎重な集積・乾燥・焼却。

オオキンケイギク

【特定外来生物】(陸生植物)



【特徴】 北米原産のキク科多年草。5月～7月頃に鮮やかな黄色の花を咲かせる。強健で種子繁殖力・再生力が強い。

【影響】 河川敷、道路脇、里山、農地に繁殖。群生して在来の野草(カワラナデシコ等)を駆逐し、生態系・河川景観を単純化させる。

【対策】 種子をつける前の駆除(抜き取り)。根ごと抜き取り、ビニール袋に入れて現地で枯殺後、燃えるごみとして処分。

◆外来昆虫・クモ・水生生物

クビアカツヤカミキリ

【特定外来生物】(昆虫類)



【特徴】 中国・サハラ原産。全体が光沢のある黒色で首(胸部前甲板)が赤い。

【影響】 サクラ、ウメ、モモなどのバラ科樹木に寄生。幼虫が内部を食害し大量のフラス(木屑と糞)を排出、樹木を枯死・倒木させる。名所や観光景観、果樹園へ激甚な被害。

【対策】 フラスの早期発見・通報体制。ネット(防虫網)巻きによる成虫拡散防止、薬剤注入・伐採処分。

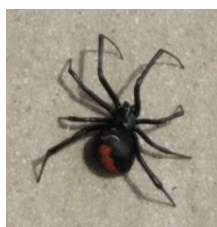
※ 東近江市内では令和8年9月末時点未確認。今後、要注意外来種
長浜市(R7.7 初確認)、甲賀市(R8.4)、米原市(R8.7)、大津市(R8.7)



▲フラス

セアカゴケグモ

【特定外来生物】(クモ類・有毒種)



【特徴】 オーストラリア原産の有毒グモ。メスは全体が黒く背中に赤色の縦帯模様を持つ。日当たりが良く温かい日陰(プランターの裏、側溝のフタ裏、自動販売機裏等)に生息。

【影響】 有毒(α -ラトロトキシン)であり、咬まれると激痛、局所の腫れ、重症化すると全身の発汗、吐き気、頭痛等を引き起こす。

【対策】 市内の生息・発見情報の収集と注意喚起。素手で触らない啓発。市販の家庭用殺虫剤散布または靴で踏み潰して駆除。

ブラックバス／ブルーギル

【特定外来生物】

(外来魚・水生生物)



【特徴】 北米原産の肉食性淡水魚。

【影響】 琵琶湖、伊庭内湖、ため池等に定着。ホンモロコ、ニゴロブナの幼魚やカワバタモロコ、水生昆虫を大量捕食し在来生態系を破壊。

【対策】 外来魚回収ボックス設置、リリース禁止徹底、水抜き・電気ショック船・網による定期駆除。

アメリカザリガニ

【条件付特定外来生物】(水生甲殻類)



【特徴】 北米原産の甲殻類。環境耐性が極めて強い。

【影響】 ため池や農業水路で水草を切断・食害し、カワバタモロコ等の希少魚の隠れ家・産卵場を消失させる。幼虫や水生昆虫の捕食。

【対策】 水抜きや捕獲かご設置による密度抑制。野外への放出・移動防止の啓発。

ミシシippアカミミガメ

【条件付特定外来生物】(爬虫類)



【特徴】 北米原産の水ガメ(幼体はいわゆるミドリガメ)。環境変化に強い。

【影響】 伊庭内湖や農業池、河川に定着。在来のニホンイシガメ等と日光浴・産卵場所を競合し、水草や小型魚類・水生昆虫を捕食。

【対策】 わな仕掛けによる捕獲、野外放出禁止(買い控え・終生飼育)の啓発徹底。

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)

【重点対策外来種】(淡水貝類)



【特徴】 南米原産の淡水性大型貝類。鮮やかなピンク色の強い付着性卵塊を水田の稲茎や水路壁に産み付ける。

【影響】 田植え直後の柔らかい幼苗を食害し、水田に深刻な農業被害(欠株)をもたらす。水生植物を激しく食害し水辺生態系を改変。

【対策】 冬場の浅耕(耕起による物理破壊・冷凍殺)、浅水管理による食害防止、水路や水田での卵塊の潰し落とし、専用防除剤の活用。

アメリカシロヒトリ

【一般外来種】(害虫・樹木害虫)



【特徴】 北米原産のヒトリガ科の蛾。年2回(夏・秋)発生。幼虫は白い糸で巣網を張り、集団で葉を食害する。

【影響】 桜、柿、ハナミズキ、プラタナスなど街路樹や庭木、公園樹の葉を激しく食害し坊主状にする。フン害や街路樹景観を損なう被害大。

【対策】 幼虫が巣網に固まっている早期(若齢期)の枝ごと切り取り処分。早期殺虫剤散布や剪定管理。

◆外来哺乳類・鳥類

アライグマ

【特定外来生物】(哺乳類)



【特徴】 北米原産。手先が器用で木登り・泳ぎが得意。繁殖力が高い。

【影響】 農作物(トウモロコシ・果樹・苺等)の食害、家屋・社寺・文化財への侵入・糞尿被害。在来小動物や鳥類卵の捕食。

【対策】 箱わなによる効率的捕獲、侵入防止策の指導、市民目撃情報の迅速対応。

ヌートリア

【特定外来生物】(哺乳類・水生齧歯類)



【特徴】 南米原産の大型水生齧歯類。泳ぎが得意で水辺に生息。

【影響】 水田の稲や野菜の食害。強力な巣穴掘りにより土手・農業用堤防を破削・破壊、水辺生態系の改変。

【対策】 水路・溜池周辺での捕獲わな設置、生息域の監視・管理。

ハクビシン

【外来哺乳類】(哺乳類)



【特徴】 東南アジア等原産のジャコウネコ科哺乳類。運動能力が高く電線や樹木を渡る。

【影響】 スイカや果樹などの農業食害、家屋・屋根裏への侵入やアレルギー・糞尿被害。

【対策】 侵入経路の遮断、箱わな等による捕獲。